

令和6年度 前期学校評価アンケート集計					西尾市立一色南部小学校 令和6年 9月実施	
項目		目標	対象	質問内容		
信頼される学校づくり	1	保護者、地域に開かれた学校	保護者	通信やブログなどを通して学校や学級の指導方針がよく分かる		
			児 童	先生の話聞いて、自分が何をやらなければならないかがわかる		
			教職員	通信などを通して指導方針(学級経営方針も含む)を説明するよう心がけている		
		【1】 ブログでは、子どもたちの活動を随時発信するように努めている。これからも子どもたちの学校の様子を保護者・地域に伝えていけるよう取り組みを続けたい。				
かんがえる	2	全員参加の楽しい授業	保護者	お子さんは、自ら進んで学習したり考えを伝えたりしようとしている		
			児 童	授業の中で自分の考えを進んで発表したり、問題を進んで解決したりしている		
			教職員	子どものやる気を引き出し、自ら考え学ぼうとする授業づくりに取り組んでいる		
		【2】 学習指導要領の示す「主体的・対話的で深い学び」の実現に加え、ＩＣＴ機器の活用は授業で積極的に取り入れられている。さらに教職員の研鑽を積んでいながら、子どもたちが考えを深め、伝える場を設定したり、個別最適化の場面を設定したりして学力の定着を図りたい。				
	3	基礎学力の定着	保護者	お子さんは、習ったことを繰り返し学習している		
			児 童	毎日の授業で学習したことをきちんと復習している		
			教職員	努力賞テストなどを通して、その学年で身につけるべき学力を定着させている		
		【3】 基礎学力定着のため、家庭等での復習の習慣化が定着しつつあるが、タブレットを活用し、家庭学習の課題を精査しながら学校と家庭が連携していくことが課題としてあげられる。				
4	学びの価値づけ	保護者	お子さんは、自分の目標に向かって努力し、通知表ファイル等で振り返り、次に生かしている			
		児 童	授業や行事の振り返りから目標を決め、その結果を次につなげて生かしている			
		教職員	指導と評価の一本化を図った朱書きを入れ、意欲を引き出している			
	【4】 児童の学びの価値づけが定着しつつある。児童の振り返りをもとに、次へつなげていけるような支援の場を設けるとともに、達成感を味わえる活動を心がけていきたい。さらに、保護者に振り返り等を見ていただけるような機会を増やしていきたい。					

きたえる

5

新たな教育課題

保護者

お子さんは、情報機器等を活用しながら意欲的に学習に取り組んでいる

児童

授業の中で情報機器等を活用し、自分の考えを深めている

教職員

情報機器を活用し、プログラミング的思考を育む授業づくりに取り組んでいる

保護者

児童

教職員

37%

29%

21%

13%

43%

20%

27%

10%

65%

15%

30%

4%

よく当てはまる

やや当てはまる

あまり当てはまらない

まったく当てはまらない

【5】児童一人に一台ずつ配置されたタブレット端末を活用し、考えを深めるツールとしての活用に向けて教職員の一層の研鑽が望まれる。研修など計画的に位置づけ、積極的に教育現場で活用できるようにし、教育的な効果をさらに向上させていきたい。

6

体力の向上

保護者

お子さんは、業前マラソンに目標をもって取り組んでいる

児童

自分は、業前マラソンに目標をもって取り組んでいる

教職員

目標をもって業前マラソンに取り組めるような声かけや工夫ができています

保護者

児童

教職員

29%

33%

26%

11%

56%

34%

5%

3%

22%

55%

23%

0%

よく当てはまる

やや当てはまる

あまり当てはまらない

まったく当てはまらない

【6】本校伝統の業前マラソンである。マラソンにより体幹が鍛えられていることがけがの減少につながっていると考え。目標と達成感、成就感をもたせて児童の体力の向上を目指していきたい。

7

生活リズムの調整

保護者

「親子げんきっ子カード」を、お子さんといっしょに取り組んでいる

児童

自分は、「親子げんきっ子カード」に真剣に取り組んでいる

教職員

「親子げんきっ子カード」をもとに、健康な生活リズムを心がける声かけや工夫ができています

保護者

児童

教職員

22%

42%

29%

8%

59%

32%

6%

3%

23%

66%

11%

0%

よく当てはまる

やや当てはまる

あまり当てはまらない

まったく当てはまらない

【7】学期に1回の取り組みであるが、児童が高い意識をもって取り組んでいることがわかる。家庭（保護者）の協力体制が意識の向上に大きく関係していると考え。さらに教職員側の声かけや健康について意識を向上させるための工夫をしっかりしていきたい。

8

食生活の定着

保護者

お子さんは、お家でも好き嫌いなく、バランスのとれた食習慣がついている

児童

給食や家での食事で、好き嫌いなく、バランスよく食べることができている

教職員

バランスのとれた食習慣が意識できるような指導を行っている

保護者

児童

教職員

34%

32%

31%

13%

43%

45%

10%

2%

40%

40%

10%

10%

よく当てはまる

やや当てはまる

あまり当てはまらない

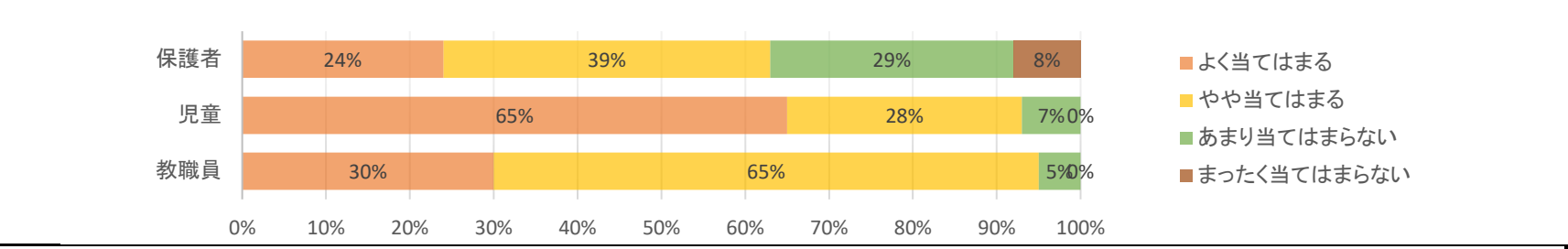
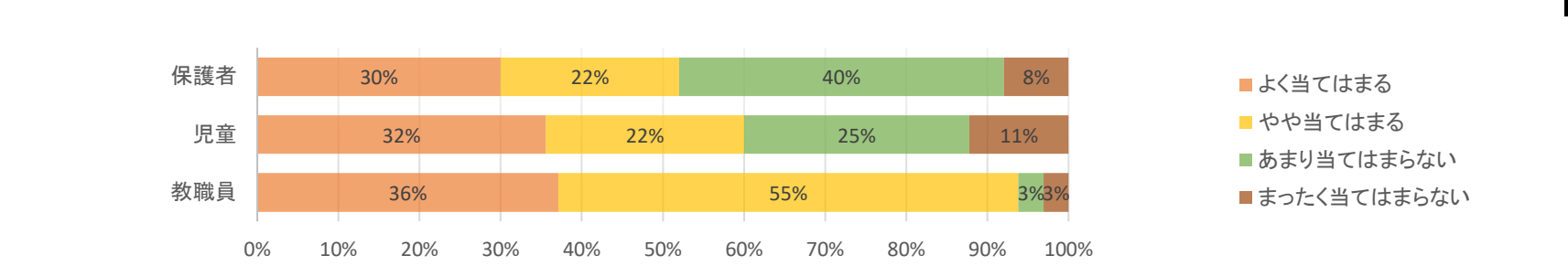
まったく当てはまらない

【8】保護者への理解が進むよう、弁当の日の取り組みの効果を伝えていく必要がある。さらに子どもたちが食生活の大切さをとらえるような機会をとして、自分でメニューを考え、保護者とともにお弁当が作れるような指導をしていきたい。

令和6年度 前期学校評価アンケート集計

西尾市立一色南部小学校
令和6年 9月実施

たすけあう	9	安全指導	保護者	お子さんは、交通安全に気をつけて登下校したり、自転車に乗ったりしている
			児 童	交通安全に気をつけ、登下校したり自転車に乗ったりしている
			教職員	交通安全指導で、状況に応じた的確な判断や行動をとるよう指導している
		【9】 昨年度同様、登下校に対する不安を抱いている保護者が多かった。通学団に対する指導をはじめとして、安全・安心について常日頃から児童に高い意識をもたせていきたい。		
たすけあう	10	防災・安全教育	保護者	大きな津波やなどが起こったとき、避難場所や避難経路について家で話し合っている。
			児 童	大きな地震や津波がきた時の自分の命を守る方法を知っている。
			教職員	避難訓練では状況に応じた的確な判断や行動ができるように指導している。
		【10】 概ね高い割合で意識がされている。しかし、全員が高い意識をもつことが命を守る上で大切である。100パーセントを目標にさらに「自分の命」の守り方を具体的に地域も巻き込みながら防災教育について考えていきたい。		
たすけあう	11	自己肯定感	保護者	お子さんは、お家で自分のよいところや得意なことを話す
			児 童	自分にはよいところや頼りにされているところがある
			教職員	自己肯定感、自己有用感を高める工夫をしている
		【11】 児童の自己肯定感が高水準である。「よくあてはまる」「やや当てはまる」の合計の数値は、上がってきている。保護者会などの機会をとらえ、教職員は子供たちのよさを伝え自己肯定感・有用感をもてるよう、保護者の協力をさらに得ていきたい。		
たすけあう	12	あいさつ	保護者	お子さんは、進んであいさつをすることができる。
			児 童	地域の方や先生、友達に進んであいさつをすることができる。
			教職員	地域の方や保護者、子どもたち同僚にあいさつをしている。
		【12】 「あいさつ」については人間関係を良好に保つための大切な手立てとして教職員をはじめ、子どもたちにあいさつの大切さを意識させ、取り組めるようにしたい。さらに、地域の方からのあいさつの状況、ご意見に耳を傾け把握し、あいさつの向上に努めたい。		
		信頼を基調とした集団づくり	保護者	お子さんは、学級のきまりや目標について前向きにとらえ、家でも話題にしている
			児 童	学級目標にむけて達成できるように行動している
			教職員	学級目標を核として、子どもたちが主体的に活動したり、企画・運営したりできる場の工夫をしている

たすけあう	13		
		【13】 児童・教職員に比べ、保護者の数値が低い。児童が係活動や委員会活動で活躍できる場を増やした。さらに意識を高め、活躍できるよう手だてをとっていきたい。	
	14	笑顔で通える学校	保護者 お子さんは、誰に対しても優しいことばをかけたり接したりしながら、楽しく学校に通っている
			児童 誰に対してもやさしいことばをかけたり接したりしながら、楽しく学校へ通えている
			教職員 子どもの様子の変化をとらえ、互いに尊重し合い、いじめのない学級づくりを進めている
	14		
		【14】 保護者、児童、教職員ともに「よく当てはまる」「やや当てはまる」を合わせて80%以上となっている。今後もこの状態が続くようしっかり取り組んでいきたい。また、「まったく当てはまらない」と回答をした保護者・児童がいることを真摯にうけとめ、0%を目指して取り組んでいきたい。	
		【保護者コメント集】	
		○タブレット学習がまだ始まってないので何とも言えませんが、学習以外の面でもタブレットを活用したらいいのではないかと思います。（PTA総会をタブレットで見られるようにする等） ★1年生も今後段階的にタブレットを使った学習を行っていきます。 ○夏の酷暑が早くなり、しかも長引くようになってきたと感じるのでマラソンの開始時期も見直して欲しい。 ★子どもたちの命を第一に気温、湿度、WBCT熱中症指数、子どもたちの様子を見ながら適切に対応します。 ○登校したらスタンプが貯まるとか。スタンプカードや、学びの友にスタンプ押せるなど。低学年なら喜ぶかも。登校の意欲に繋がらないかと…図書室でのくじ？で貰えた手作りのカードなども喜び大切にしていました。 ★ありがとうございます。今後参考にさせていただきます。 ○中外沢門の木や草の手入れをして欲しいです。いくら、来客がそこから来なくっても、子供が朝から気持ちよく登校できるように。 ★今後、剪定作業をすすめていきます。 ○学校全体の人数が少ないので、全学年での交流を他の学校よりも盛んにおこなってほしいです ★ありがとうございます。今後参考にさせていただきます。 ○先生方にはいつも大変お世話になり感謝の気持ちでいっぱいです！ ○パッドで先生とメッセージ交換ができて、とても楽しそうです。忙しい中にいつもありがとうございます。	